

■ 嶋中雄作 {中央公論社}社長。{婦人公論}創刊して画期，出版部を設けて記録の成績，穩健路線も軍部に惜まれる。

しまなかゆうさく

国民之友始・1887 = 奈良県に生まれる。医師雄碩の四男。島中雄三の弟。

帝国憲法発布1889 = 2歳：

日清戦争始・1894 = 7歳：

白馬会・・・1896 = 9歳：

日露戦争終・1905 = 18歳：

奈良県立畝傍中学校を経て，

明治天皇没・1912 = 25歳：早稲田大学哲学科を卒業，中央公論社に入社。

名編集者滝田樗陰の下で編集に従事。

第一次大戦始1914 = 27歳：

民本主義・・・1916 = 29歳：*{婦人公論}を創刊，編集長となり，

婦人の自覚，地位の向上，参政権獲得の運動を積極的に指導・援助するとともに，女流文学者の発掘と育成に努めた。

原敬首相暗殺1921 = 34歳：

関東大震災・1923 = 36歳：

金融恐慌・・・1927 = 40歳：滝田の後を受けて雑誌{中央公論}主幹を兼ね，

共産党事件・1928 = 41歳：*中央公論社社長に就任すると，新しく出版部を設けてレマルクの「西部戦線異状なし」を発売，記録的な成績を挙げる。

満州事変・・・1931 = 44歳：

五一五事件・1932 = 45歳：

以後，左翼全盛の時代にあって，穩健中正な論調を守り，言論界に指導的役割を果たしたが，

日中戦争始・1937 = 50歳：

日米開戦・・・1941 = 54歳：

日本の軍国化に抵抗する姿勢が軍部の憎むところとなり，

年金+総武装 1944 = 57歳：中央公論社の解散を命ぜられた。

敗戦・・・1945 = 58歳：*敗戦とともに，社長に復帰し，再建，

以後，隆盛の時代を迎えるが，

三大事件・・・1949 = 62歳：_没した。